

今月の推薦句

山田真砂年選

空っぽの交番あさがほ育ちをり

司 まや

夏風邪のずるずる原因不明なる

滝代文平

せせらぎに磨かれてゆく月の顔

伊藤 翠

汗の服皮膚剥ぐやうに脱ぎ捨てる

檜田良枝

田に畑に手を振る人よ盆祭

中村かりん

万緑や風土記の里のカレーパン

中村晃也

登校の身仕度慣れし半夏生

丸山時子

早稻の花今朝満開に草田男忌

矢代靖子

エコバッグ持ちて茅の輪を潜りけり

沼田布美

うろ覚えの道をすんずん白木槿

飛田小馬々

下町に馴染めぬままに水中り

上田信隆

黒色も褪せる色なり終戦日

岡本秀子

海霧深き島に一人の何でも屋

久保千恵子

小さき手に形良き爪青葉風

瀧本 萌

夏暖簾分けて裏口見えてをり

池田角之助

水分補給と呪文のごとし夏

今井恵子

新涼や月の明かりの高野楨

高田 峰

炭鉱跡にハングルの碑や白木槿

相馬ゆう子

ベン豚胝の手が白桃を剥いてをり

堀 潤子

夏休み襖外して大雑魚寝